

釜石発

仮設校舎で最後の運動会

釜石市の鶴住居小学校は仮設校舎で最後の運動会を迎えました。鶴住居小学校は津波で校舎が全壊し、震災翌年から仮設校舎で学んできました。新しい校舎が来年3月に竣工するため、仮設での運動会は今年で最後となります。149人の全校児童は赤組と白組に分かれ徒競走や応援合戦に熱戦を繰り広げていました。また、校庭には家族が大勢訪れ、声援を送っていました。(5/21 ニュース)



山田発

どんぐりの植樹

被災地の子どもたちが拾ったどんぐりが、全国の保育園や幼稚園の子どもたちにより育てられ、復興が進む山田町の商店街に植えられました。これは東京のNPO法人「子どもの森づくり推進ネットワーク」が『互いを思い合い、共に生きる力を育てていきたい』と震災の翌年から続けている活動です。山田町の国道沿いに整備された新生やまだ商店街には、商店街の代表や地元の子供たちが集まり、50センチ前後に成長した苗木4本を駐車場脇の緑地に植えました。(5/22 ニュース)



大船渡発

さんりく元気ラジオ！

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

5月25日は、大船渡「FMねまらいん」の伊藤こずえさんが、大船渡市気仙小学校5年生の田植え体験について伝えてくれました。植えたのは、地元酒造会社の特別純米酒の原材料となる酒米の苗です。ほとんどの子供たちは手植えが初めてという事で、おっかなびっくり田んぼに入り、それでも歓声を上げながら植えていました。田植えの後は酒造会社を用意したおにぎりとお腹いっぱい食べ満足気だったという事です。秋には稲刈りも行う予定です。(5/25)

宮古発

津波対策説明会

宮古湾の津波対策として整備が進む鉾ヶ崎地区の防潮堤と閉伊川水門の整備に関する住民説明会が行われ、事業費の増加や工期の延長に対し住民から批判が相次ぎました。説明会では、事業費が防潮堤は24億円、水門は105億円増え、工期も防潮堤が1年、水門が3年延びることが報告されました。出席者からは「津波からまちを守る一番早い方法と聞いていたのに納得できない」という声や、事業の中止を求める意見も出ました。県は地盤の状況などが想定外だったと陳謝した上で、今後も説明を重ね理解を求めたいとしました。(5/26 ニュースエコー)



盛岡発

三千院から義援金



東日本大震災の被災地支援を続ける京都の天台宗の名刹「三千院」から県に義援金が贈られました。三千院では復興を願って写経をした参

拝客の奉納料と、院内の募金箱で集められた義援金を、東日本大震災の被災3県に寄付しています。今回は三千院の北川真佑総務部長から県保健福祉部の佐々木信部長におよそ190万円が手渡されました。贈られた義援金は県が開く配分委員会で活用方法を検討します。(5/27 ニュース)

宮古発

さんりく元気ラジオ！

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週は、みやこハーバーラジオの箱石文彦さんが6月12日(日)の「早池峰山山開き」について伝えてくれました。早池峰山は標高1917メートル。日本百名山にも選ばれ、三陸ジオパークのジオポイントで、固有の高山植物の宝庫でもあります。小田越登山口で入山式が行われて登山開始となり、山頂では安全祈願祭や早池峰岳神楽保存会による神楽の奉納が行われるとのこと。(6/1)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから<http://www.abc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122